

年度スローガン

～ 元気にあいさつ明るい新発田 ～

# 広報 はばたき

第47号

## 新発田青少年健全育成市民会議

青少年健全育成講演会

講師 フリーアナウンサー 遠藤 麻理 さん

演題 「心をつかむコミュニケーション術

～聴き方・話し方 そして、流し方～

平成31年1月12日(土)・生涯学習センター



### ◇人との出会いで心がけること

この仕事は、毎日新しい人に会うことができます。心がけていることは、その人についてできる限り情報収集をするということです。その人は、何が好きなのか、何を語っているのかという感じです。以前、落合務シェフとのトークショーがありました。予約して東京まで行って食べてきました。全部自腹で払い、ギャラを上回りましたね。でも、安心してお会いし、トークを進めることができました。事前の情報収集は、相手を受け入れる準備であり、相手に受け入れてもらう準備です。



◇アナウンサーへの道  
きっかけは、高校野球のスタン  
ドリポーター。第1志望の高校に  
失敗し、落ち込んでいたとき、C  
Mを目にしたので応募しました。  
誰に何を聞いて、どうまとめて、  
どう伝えるかまで任せてくれました。  
自分の言葉で伝えられるって  
何て面白い仕事なんだろうと思い、  
その時に決意しました。

### ◇一人ひとり違ってあたりまえ

その次にすることは、会ったらそれを一旦全部捨てるということですね。今、目の前にいるその人が一番新しい「その人」です。1分前のTwitterよりも新しいんです。会ったらその人のことを丸ごと無条件で好きになる。その時間は誰よりも一番好きになる。さらに褒める。なぜ褒めるかというと、相手の心を気持ちよくするためです。見た目だけじゃないです。お会いできるのを楽しみにしていましたというのも褒めるです。最後は、特別好かれようとしなないということですね。違う人間なんだからみんなと合うわけがない。ここからスタートすればいいんです。合わなくても落ち込む必要はない。みんな個性があって一人ひとり違っていいんです。



### ◇苦手な人？みんな一度試してみて

よく苦手な人と接するにはどうしたらよいかと質問されますが、その人を小さいところから見ていけばよいのです。例えば、メガネ、靴、鞆、ブローチなどに目を付けます。「このブローチ素敵だな。旦那さんからの誕生日プレゼントかな？」と想像していくと、この人にも誕生日がある。好きな人がいる。この人も誰かから生まれ、愛する人がいるという感じになっていくんですね。嫌いな人、苦手な人は、何か全く自分と別物みたいなイメージではないですか。でもそれは違う。みんな同じなんですよ。共通点も必ずある。もしそうじゃなくてもいい。自分で広げていくんです。そういう想像を働かせていくと、「じゃあ、まあいいか」という感じになり、許せるんですね。ぜひ一度試してみてください。



# 講演会を聴いて

猿橋中学校PTA 野崎 玲子 様

ラジオから聞こえる遠藤麻理さんの声。飾らない言葉で、どんな話題にも真正面から向き合い、ユーモアいっぱい思わず「くすっ」と明るい気持ちになります。講演会では、麻理さんの心得の数々が印象的でした。常に一緒に過ごす仕事仲間への心がけ『かりてきたねこ』（関心のある方は＃かりてきたねこで検索を！）や『お金にならない事こそ一生懸命に！』などなど、とても楽しくて心に響く、人間力を高める時間でした。

新発田市子ども会連合会 出村 豊 様

遠藤さんが、アナウンサーを夢見て苦勞をしながらFM PORTのレギュラー番組を担当するまでのお話、スタッフとよい番組を作るための「きまり」、初対面の人と打ち解けるための「心がけ」、人生を続けるための「心がけ」など、大変興味深く聞かせてもらいました。「世の中には色んな人がいる。みんなが違っていい」ことを忘れず、相手を思いやった聴き方・話し方ができるよう努めていきたいと思えます。

## 青少年健全育成

# 「一斉パトロール」出発式

平成 30 年 11 月 3 日 (土・祝)  
ヨリネスしばた (札の辻広場)

啓発場所：市内 7 か所 (イオン新発田店・コモタウン・ウオロク東新町店・ウオロク緑店  
パテオ西新発田・フレスポ新発田・カルチャーセンター)

11月の全国「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、今年度も小・中学校PTA、各地区青少年育成協議会、関係機関等のみなさん 220 名にご協力いただき、「ヨリネスしばた」での出発式後、市内 7 か所にて青少年健全育成活動についてご理解とご協力をお願いしました。呼び掛けに際して、市内各地区育成協議会等からの標語を掲載したクリアファイル (下記参照) を配布しました。たくさんのご協力ありがとうございました。

(裏)

各育成協議会の標語を紹介します。

「みんなさあ、あやまらぬ気が、笑顔に変わる」  
外ヶ崎小学校青少年健全育成協議会  
御免町小・中校区青少年健全育成協議会  
守ろう!! 皆で、地域の安全を。  
猿橋小学校青少年健全育成協議会  
まじきょうと、笑顔は、君の顔。  
一葉地区青少年育成協議会  
ひびかせて、元気なあいさつ、町じゅうに。  
住吉小学校青少年育成協議会  
やめようよ、自分がされたら、いやなこと。  
東郷地区青少年育成協議会  
知つてもよ、君のやさしさ、あたたかさ。  
猿橋中学校すこやか子ども会

市民の方 みんなで協力 安全社会  
川東地区自治連合会教育環境支援部  
心のきずな みんなでまもる。大切な命。  
七葉中学校すこやか育民会  
みんなの子供、温かい目で、見守ろう。  
さわやか佐々木女子育民会  
若い芽に、そまげ、きびしさ、あたたかさ。  
豊田地区青少年育成協議会  
ありがとう、素直な心、思いやり。  
豊田地区青少年育成協議会  
あいさつで、笑顔になろう、桜っ子。  
加治川地区青少年育成協議会  
「ありがとう」と、笑顔でこころ、抱けに。  
本丸中学校区すこやか子ども会  
育つよう、優しい笑顔と、語り継ぐ。  
猿橋中学校すこやか子ども会

(表)

11月は子ども・若者育成支援強調月間です

元気にあいさつ  
明るい新発田

新発田青少年健全育成市民会議

事務局 新発田市青少年健全育成センター  
TEL 0254-26-0897



# 青少年はぐくみ環境懇談会

平成30年11月16日(金)

テーマ「子ども達のための防犯対策」

〈参加団体等（敬称略）〉

新発田警察署、市少年補導委員会、市民生委員児童委員連合会、新発田阿賀北地区保護司会、新発田地区少年補導員連絡会、市防犯組合、市小・中学校長会、市小中学校PTA連合会、新発田青少年健全育成市民会議

## ○「青少年犯罪の現状と対策について」

新発田警察署生活安全課

課長 松本剛 様



### ◇特殊詐欺に注意

- ・ 最近多い手口は、架空請求を行い、電子マネーカードをだまし取るものです。
- ・ 犯人は、ほとんどが「受け子」といわれる現金の受け取り役で、

彼らは、上の者の名前も顔も知らず、レンタル携帯電話を使用します。

・ 以前逮捕された少年は、先輩の誘いに乗って北海道から来県し、犯行に及ぼうとしました。

・ 少年はわずか2万円の報酬だったようですが、命にも代えがたい大切なお金だったとのことです。日々生活に耐え忍ぶのに必死であったことがうかがえます。

### ◇SNSの難しさ

・ 近年、趣味などを同じくする者同士のコミュニティサイトが急激に増えています。

・ 「私の裸写真」など掲載し、小遣いを稼いだり、もっと注目されたいという「承認欲求」を満たしたりします。

・ 例え、スマホがなくてもiPodはWiFi環境があればSNSができます。使い方や危険性などを理解しないで使用しているとすれば、取り返しのつかなくなることもあり、その教育はますます重要となります。

### ◇不審者事案

・ 声かけ、付きまとい、立ちふさがり、待ち伏せ、見張り、卑猥な言動行為、徘徊などの行為が該当します。

・ 5月の新潟市西区の事案を受けて通報件数が増えています。

警察としては、アンテナが高くなつたと捉え、1件1件調べながら警戒にあたっています。

・ 防犯カメラは何かあったことまでは教えてくれません。やはり人の目が一番有効であることから、地域を挙げた取り組みが大切であると考えます。

## ○「地域と密着した防犯対策の取組について」

新発田市立猿橋小学校長

澁谷一男 様



### ◇安全マップの作成

・ 猿橋小学校では、安全マップを作成し、学期末には、地域の方も参加の上、「町内子ども会」で見直しを行います。

・ 日没後も子どもたちは夢中になって遊んでいます。誰でも声掛けをしていただきたいのですが、不審者の問題もあって地域の方との顔つきが大事であると考えます。

### ◇地域との連携

・ 学区内の各育成協議会等とは、意見交換を通じて、いつも安全

な登下校に関する見守りをいただいています。

・ 下町地区防犯連絡協議会においては、コンビ二強盗未遂事件が起きたとき、30人以上の方が学校に駆けつけ、黄色いベストを着て、一緒に下校していただきました。

・ 今後は、裾野を広げ、新たに「蹠玖良ボランテア」と銘打って、安全・学習・環境・図書館のボランテアを組織し、多様な人材を活用し、魅力ある学校運営を行っていきたくと考えています。

### ◇SNSの落とし穴

・ 今、子どもたちが夢中になっているのが、「荒野行動」というゲームです。チャットを使って仲間を募り、一緒に戦います。一見、みんなで楽しんでいるようですが、遊んでいるうちに言動が過激になったり、特定の人物を集中攻撃したりすることも起きています。

・ 私たち大人は、子どもの全てを管理することはできません。しかし、「子どもは地域の宝」との認識の下、命を守り、安全を確保することを最大限に考え、行動に移していくことで、健全な成長につなげることができると考えます。

# 子どもの安全ガイド ～子どもといっしょにやってみよう～

昨年12月、県民会議主催による市町村ネットワーク代表者会議が開催され、登下校の見守り活動について意見交換等が行われました。地域を挙げ、地域の活力あふれる取り組みとするため、市民会議の役割等が話し合われました。また、講師には、(株)ステップ総合研究所の清永奈穂<sup>きよながなほ</sup>所長を迎え、「この子大丈夫かな」と思ったその瞬間に目を注ぎ、声をかける「瞬間ボランティア」の重要性が提案されました。当市民会議としては、今後とも学校や構成団体等との連携を深め、見守り活動の取り組みを進めていきます。

## 瞬間ボランティア®とは

犯罪は、心、時間、空間、社会の隙間があれば、いつでもどこでも起こります。この隙間を埋めることが犯罪を防ぐことになります。あなたも、子どもも、誰でもなれる「瞬間ボランティア」。困っていそうな人、困ったことをしそうな人を見たら、見て見ぬふりをせず、眼差しを傾けましょう。

## ◎やってみよう! 5つの子ども安全チェック!

### 1. 嫌なことはいやとしっかり言えますか? はい・いいえ

解説:嫌なことをしてくる、なんだかおかしいなということを要求してきた時に、きっぱりはっきり嫌な時は「いや」ということはとても大切です。「嫌です」「行きません」等、断る練習をしておきましょう。

### 2. 通りを歩くときにしっかり前を向いて歩いていますか? はい・いいえ

解説:犯罪者は、20m前後左右からすでに狙いを定めてきます。前後20mくらい(電信柱と柱の間位)は気にするように歩きましょう。交通事故を防ぐためにも、ご近所の人などにご挨拶をするためにも大切です。

### 3. 防犯ブザーを適した場所に持ち、いざという時に鳴らすことができますか? はい・いいえ

解説:いざという時に防犯ブザーを鳴らせた子どもは1%(日本女子大学清永研究室調べ)。鳴らせる位置につけていなかった、電池がきれていた、壊れていた、鳴らすタイミングが分からなかったが主な理由です。紐が腰位の位置にあると、後ろから抱えられても鳴らせます。お子さんとどこにつけると鳴らしやすいかやってみましょう。

### 4. 何メートルを全速力で逃げればよいか知っていますか? はい・いいえ

解説:犯罪者は、20メートル位追いかけても子どもに追いつかないと「自分が誰かに見とがめられるかも」と思っあきらめる傾向にあります。怖くて足がすくんでも、20mはがんばってダッシュする練習をしておきましょう。ランドセルが重たい時は、走りながら落として走るなどして、どうしたら早く走れるか試してみましょう。

### 5. つかまりそうになった時どうすればよいか知っていますか? はい・いいえ

解説:大声を出す、防犯ブザーを鳴らす、腕をブンブン(相手のつかんだ指と指を切るように振る)、ジタバタ(お尻を地面につけて相手のすねをける)などの方法があります。

### ◎誰もかれもが怪しい人ではない、怪しい人の行動を見分ける合言葉「はちみつじまん®」

しつこくなにかと④なしかけてくる人、りゆうもないのに⑤かづいてくる人  
あなたが来るのを道の端でじっと⑥つめてくる人、いつまでも、どこまでも、③いてくる人、  
あなたが来るのを⑦つと⑧まっている人、こういう人に会ったら⑨?と注意

参考:「子ども安全ガイドブック」(株)ステップ総合研究所、「犯罪と地震から子どもの命を守る!」(清永奈穂)小学館



発行 新発田青少年健全育成市民会議  
事務局 新発田市青少年健全育成センター  
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号  
電話 (〇二五四) 二六一〇八九七

編集委員  
猿子 洋司 水野 善栄  
遠山 明美 平田淳一郎  
細野 明夫

雪が降り積もり、大きく頭を垂れる竹は、今にも折れそうなのに滅多に折れることはない。竹をゆすって雪を払ってやると、真っ直ぐ元に戻る。何と力強いことか、何としなやかなことかと感心します。

竹は、中が空洞で節があることにより、しっかりと造りになり、さらに大きく成長できるのだそうです。

私達に置き換えて考える時、失敗や挫折、成功や喜びはその経験が節目となって、より強くなると思えます。春、若竹が青々として真っ直ぐに空を目指して伸びてゆく様子は、健やかに成長していく青少年のように思えます。夏には竹林からの涼風が誰か喜ばせるように、やがて彼等が誰かのお役に立てる人となるように見守っていくことが私達の役目だと思えます。元号が平成から新しい時代に変わる節目に想いを新たにす今日この頃です。

(編集委員 遠山 明美)

あとがき